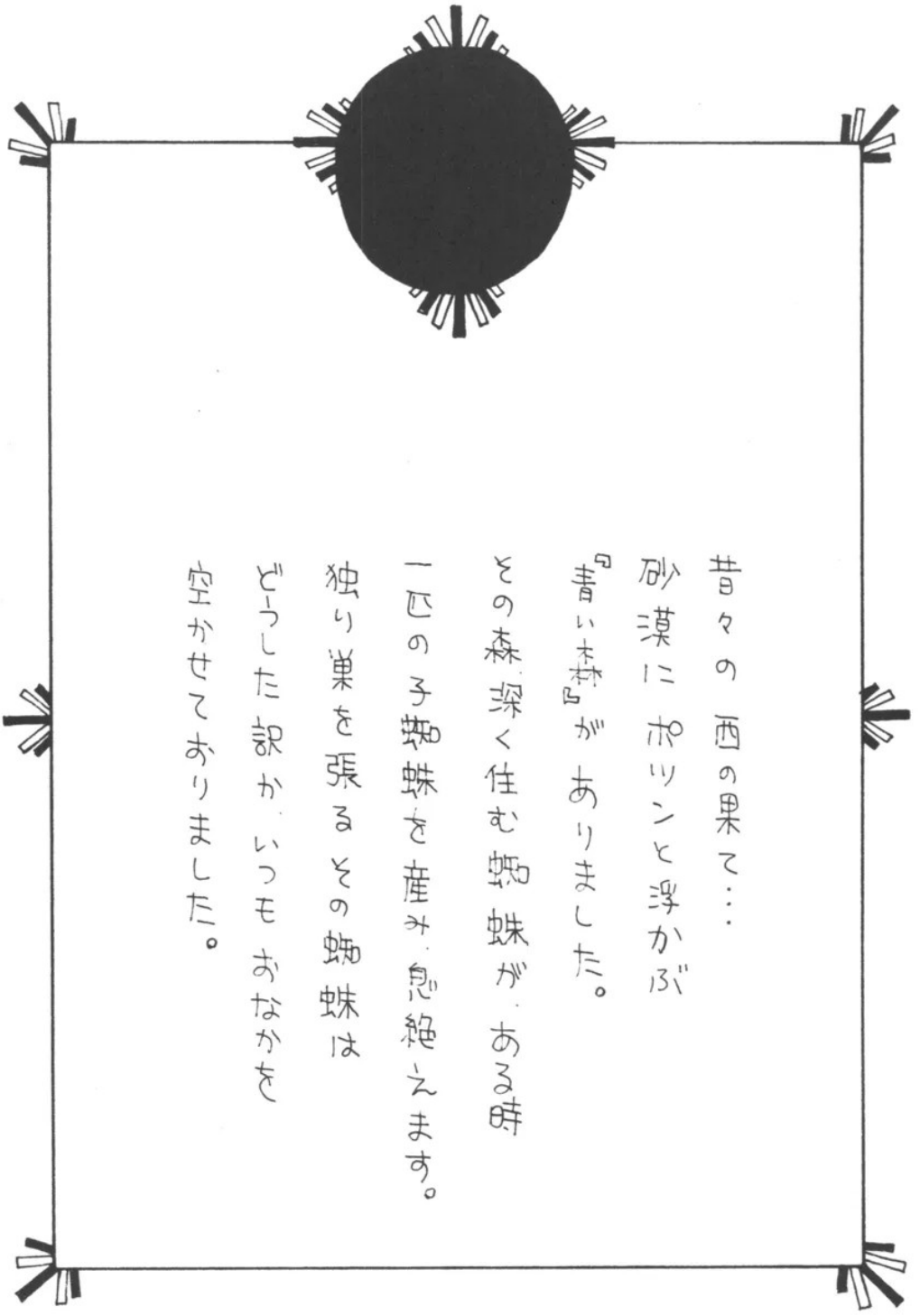
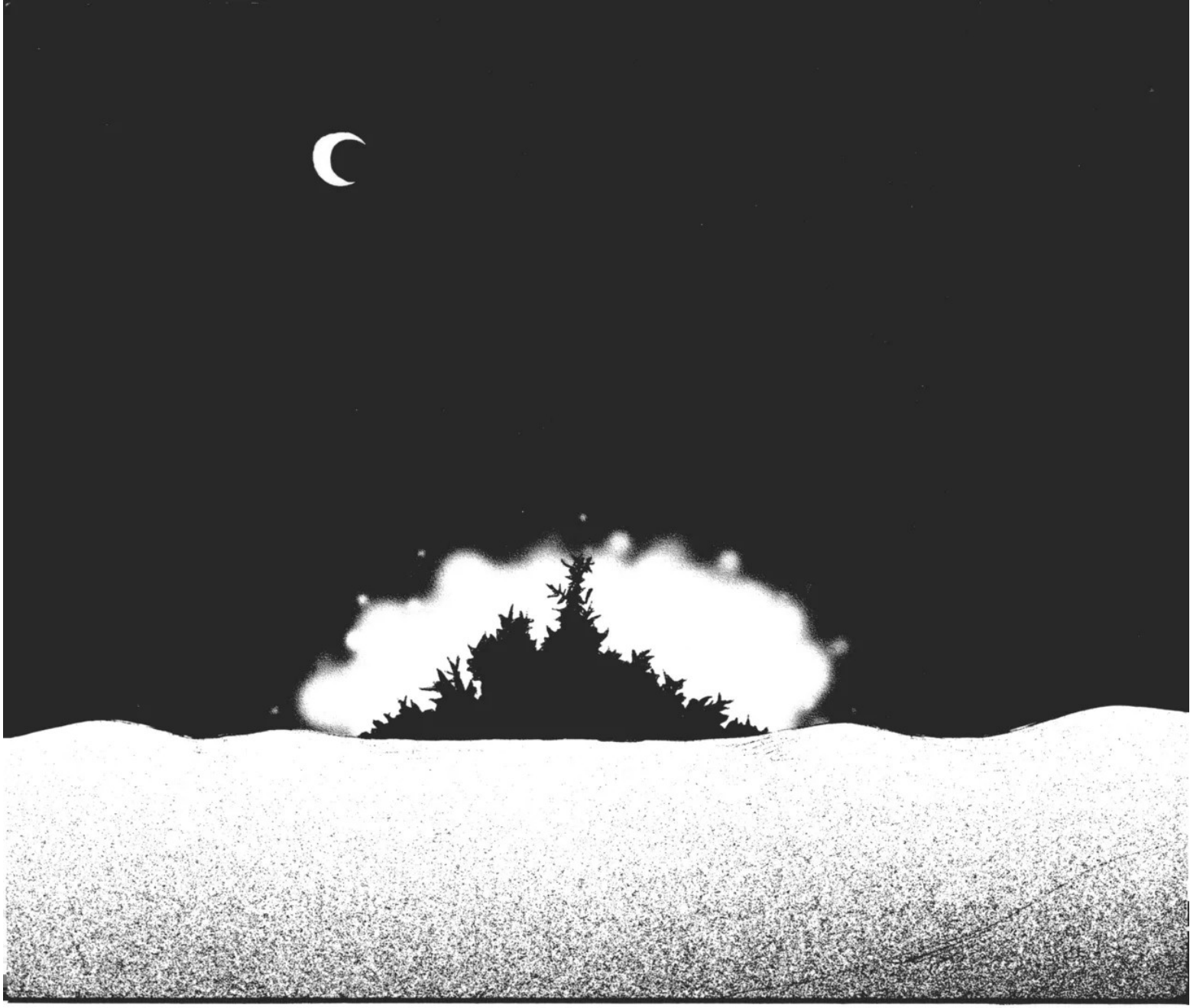
青の森、蜘蛛と蝶

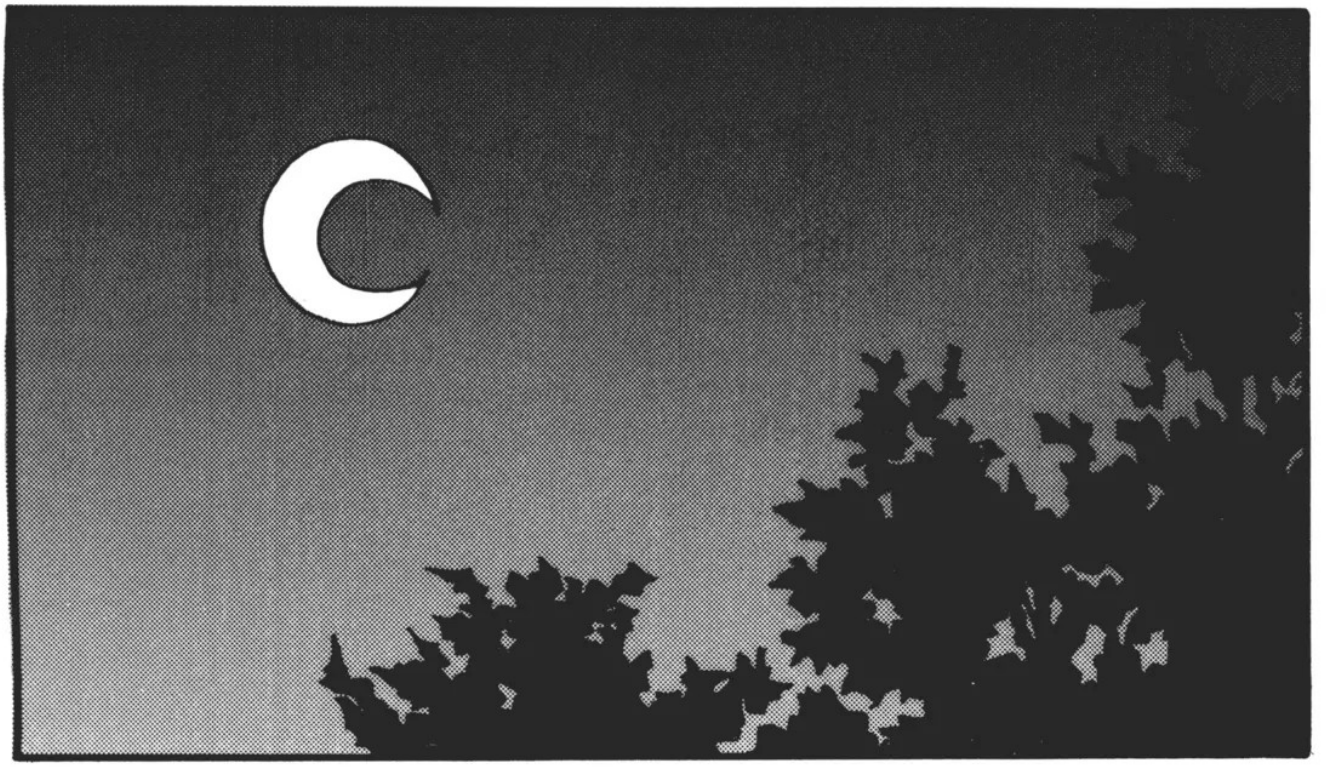


青の森、蜘蛛と蝶



昔々の 西の果て…
砂漠に ポツンと浮かぶ
『青い森』が ありました。
その森深く住む蜘蛛が ある時
一匹の子蜘蛛を産み 息絶えます。
独り巣を張る その蜘蛛は
どうした訳か いつも おなかを
空かせておりました。

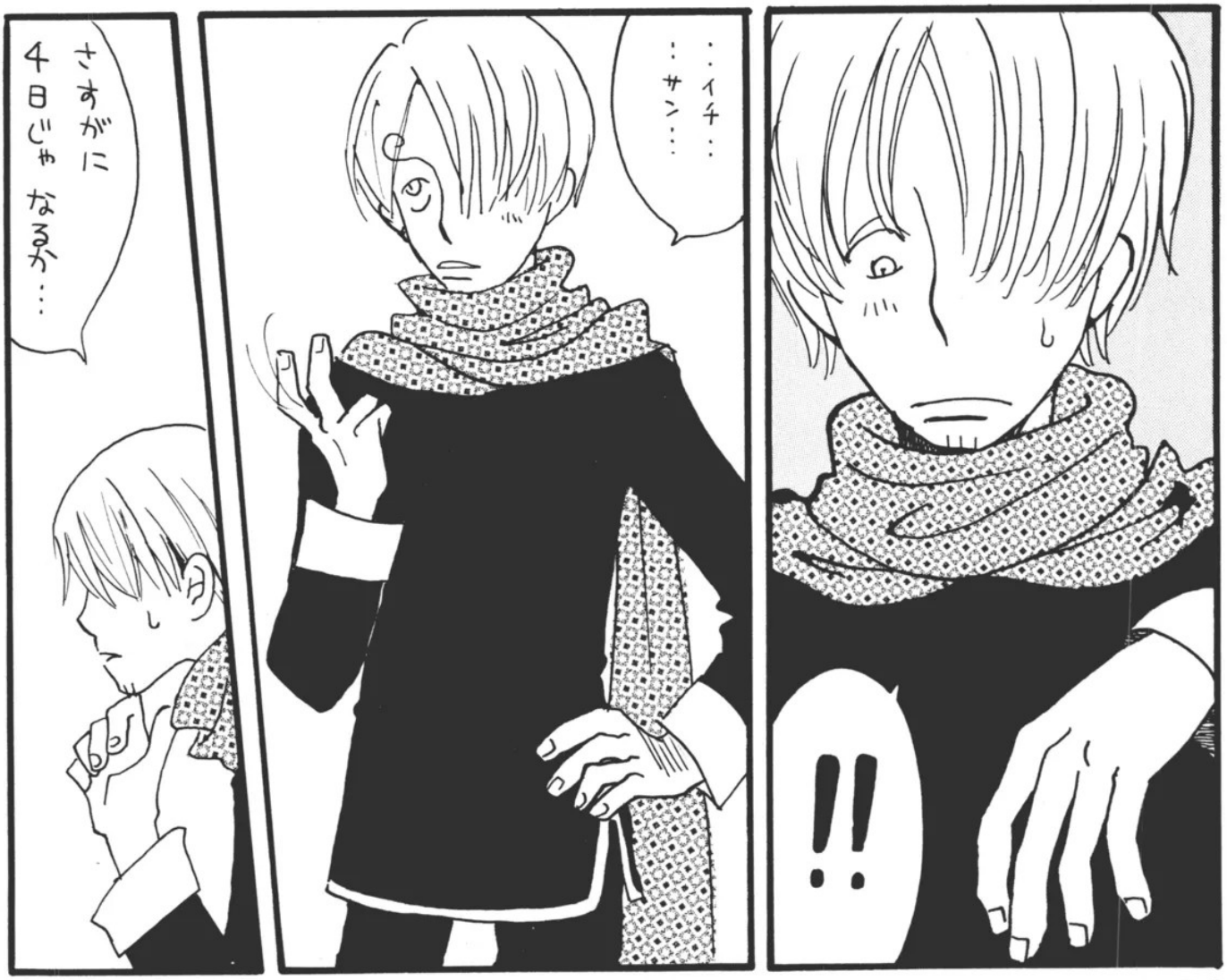





良かった…
今日も
収穫なしか
ガサ
あ!!
やぶけてる


明日も
何もかかりませんように……

ギュルルルル…






・・・・
もう少し・・・
早く来てたら？
あぁ・・
でも・・・
糸を・・はるのは
仕事なんだ・・・



君を
食べるよ……

あぁ…
甘い…

甘い匂い
おいしそう
ふわふわ
やわらか…



生まれたばかりの僕



甘い甘い
おいしい
ふわふわ
やわらか

夢中で
食べた

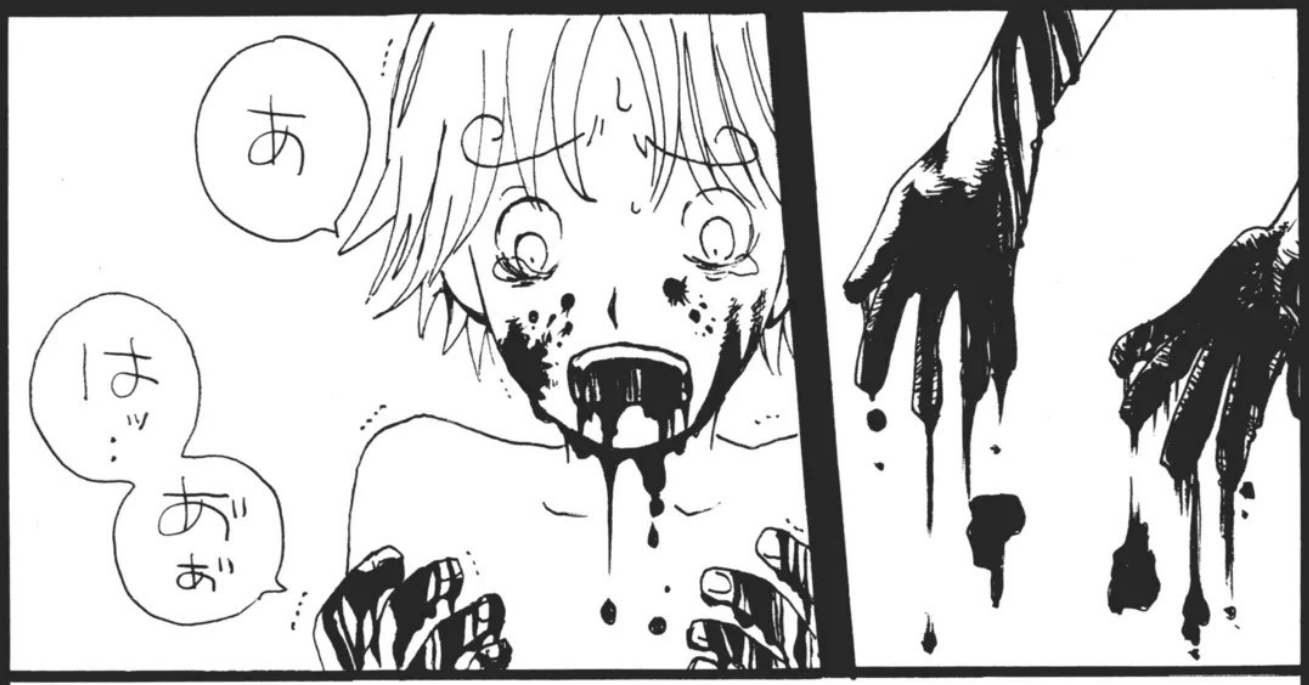


この甘さ…
なんて幸せ



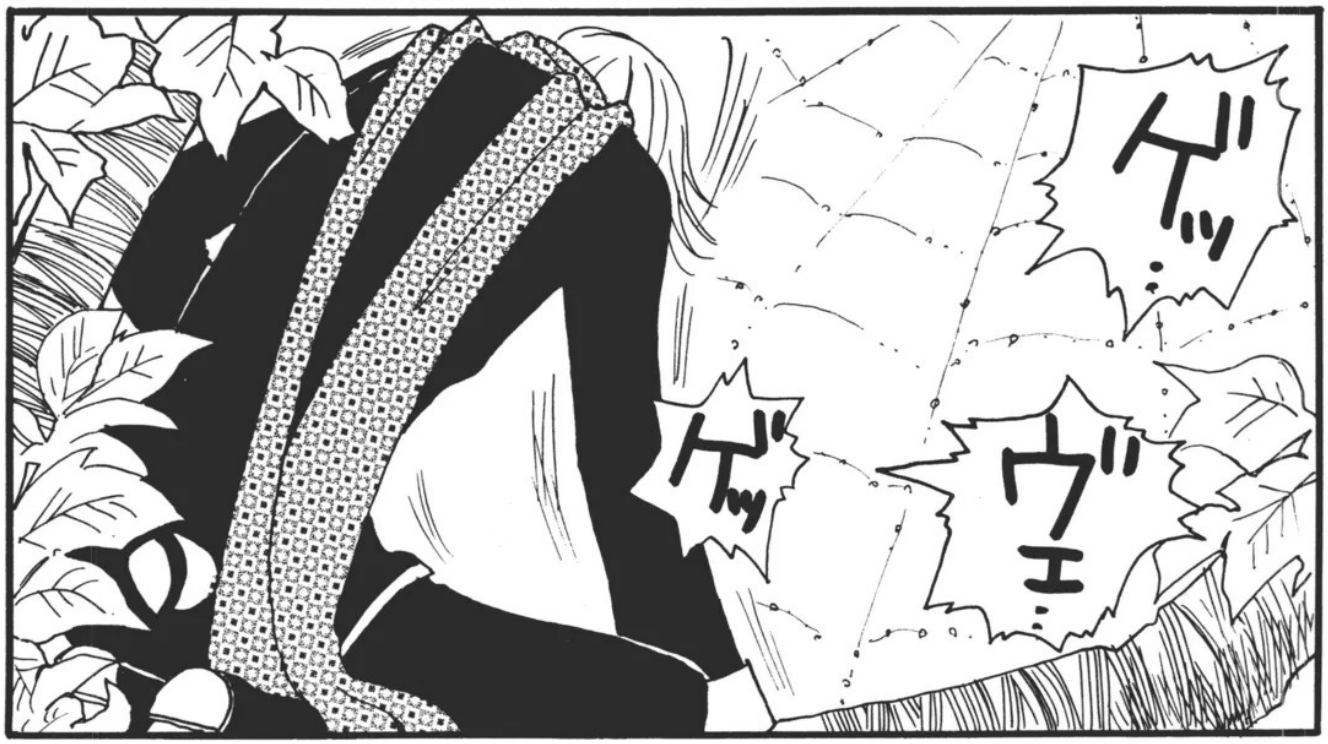

ねぇ…
『エサ』は『メス』が
一番甘くて
やわらかいの…
……
あぁ…坊や
あんたが
初めてくちにした
『女』は私…
？
ガサガサ…
どお？
これが
『女』の味
私の願い

さぁ…
早く
つづき…を



かわいい
坊や
私の子…







あれ以来
甘いモノしか
くちに出きない

――けど　それは…

あなたと同じ…

よぉ！
やせっぽち!!
また吐いたんか？

まったく…
背ばっか のびて
どーするよー！

！

お前には
関係ない！

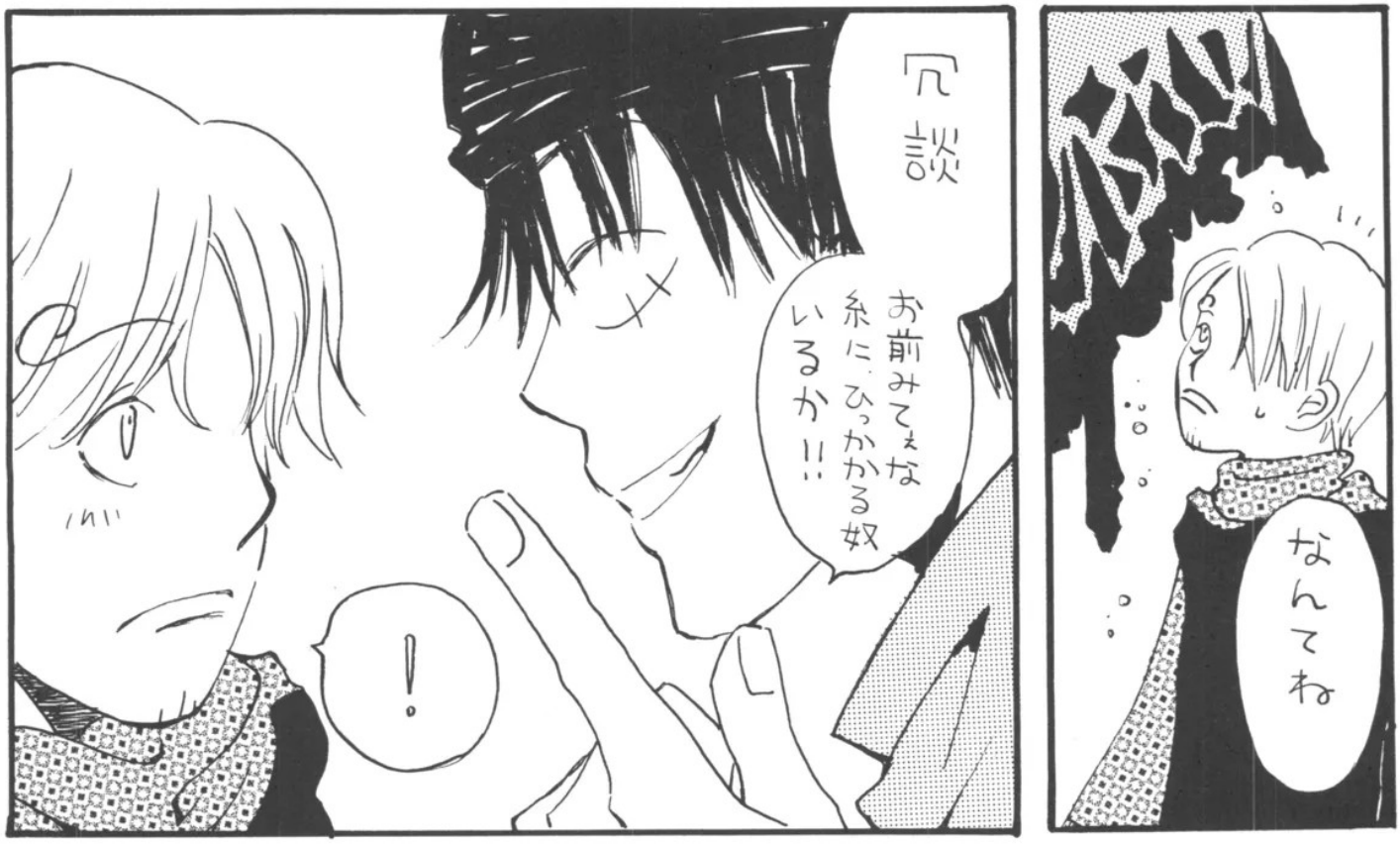
ぐい

関係ない？
本当に!?

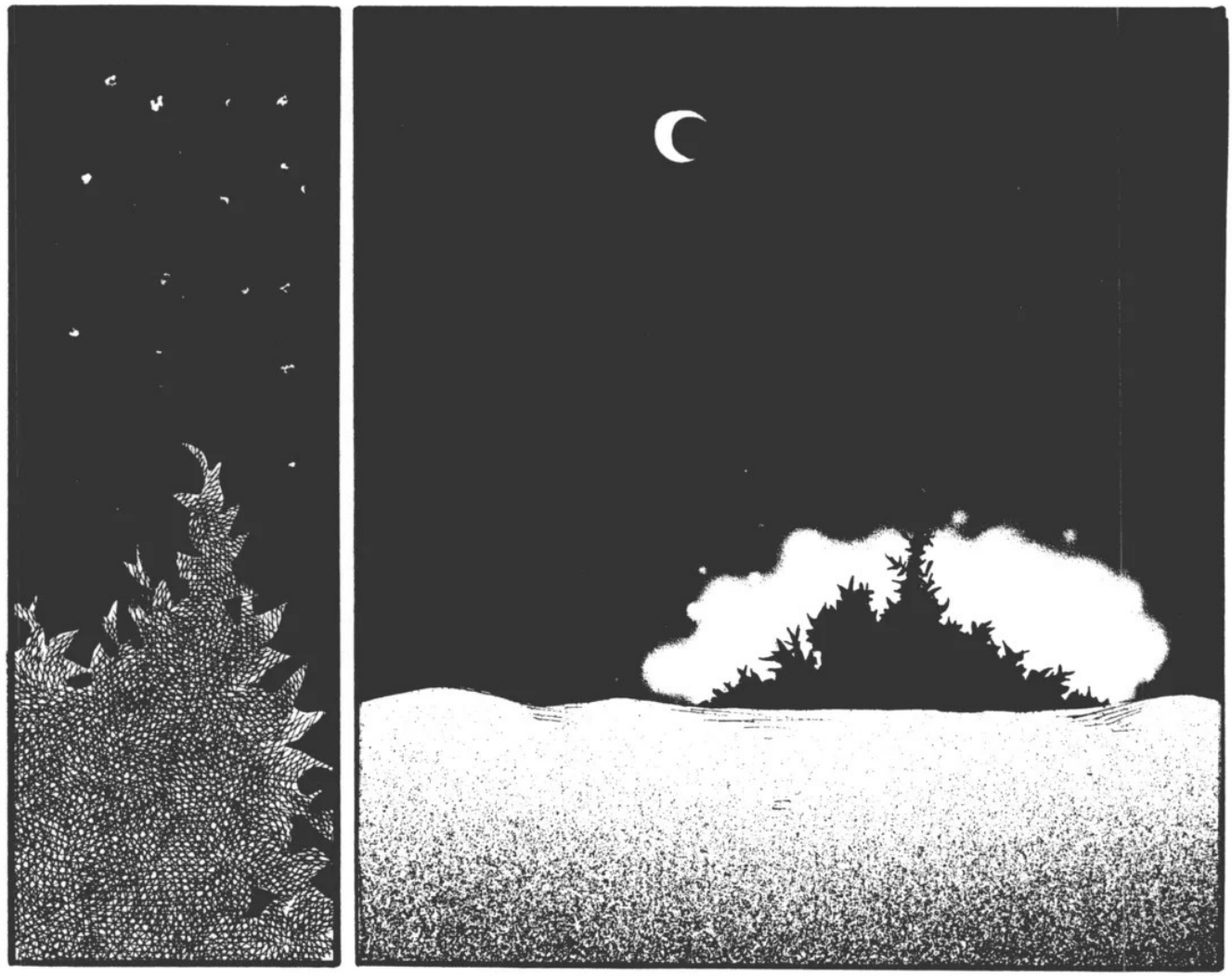
どーせ
死んだ奴しか
食えねぇのに
せっせと糸を張っている

…お前は
仕事だと言うけれど…


そいつに
「ひっかかる」のは
誰さ
・・・・
・・・・・
ヒュッ


なんてね
冗談
お前みてぇな
糸にひっかかる奴
いるか!!
!


いるだろうが
俺の目の前に…
そりゃ
そいつが
マヌケなんだ!
お前は良し!!
「目の前」って
言わなかったか?
OK!
……
あいかわらず
無茶言うな…
時々
この森にやってくる…
こいつは旅する蝶だ



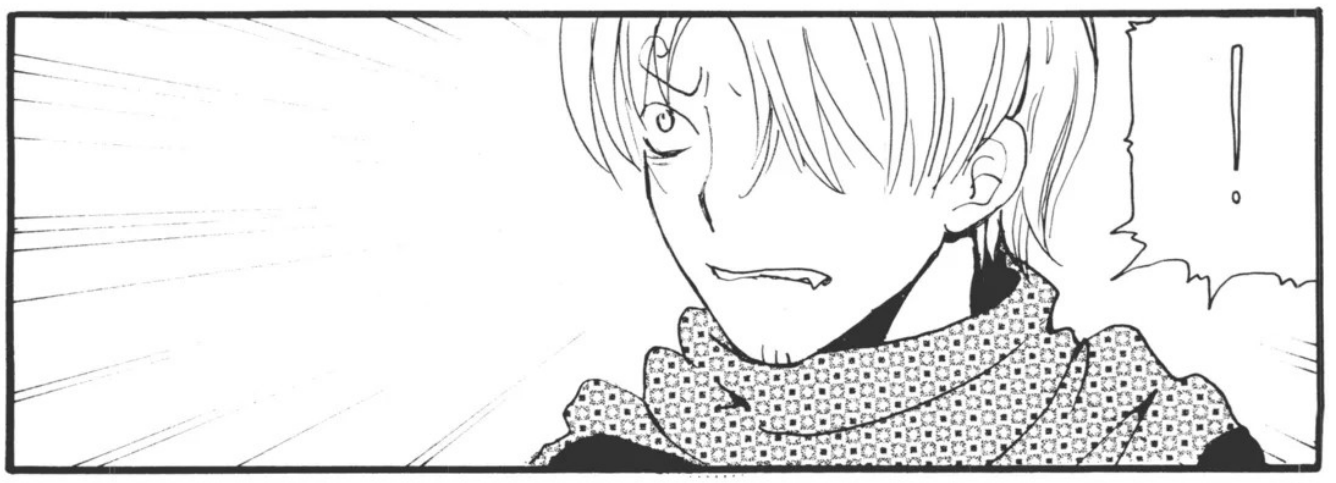

だから！
待ち合わせ
てんの!!
この森で
今夜(あたり)


ふーん
そいつ…
初めてなんだろ？
迷ってんじゃねぇの？
それは
無い！


空から
この森を
見た事が？
ある訳
ないだろ!!
この砂漠の上に
ポツンと浮かぶ
森の色は有名だよ
竜神か精霊か…
何かが隠れ住んでる
かのようなブルー
旅人(ヒト)も仲間も
皆、くちに
している……
『青くにじむ森』
——ってさ
憂鬱(ブルー)？
好きじゃない
色だな……
でも
そうか、皆が？
——知らなかったな


だからさ！
来いよ
飛び降りなって!!
そして
知ろう
イラ
……
また
その話……
お前は
俺の顔見ちゃあ
旅しようと言う
俺の背中に
『同じ羽根』でも
見えるのか!?!


違う!!
けど
見えろ！


！

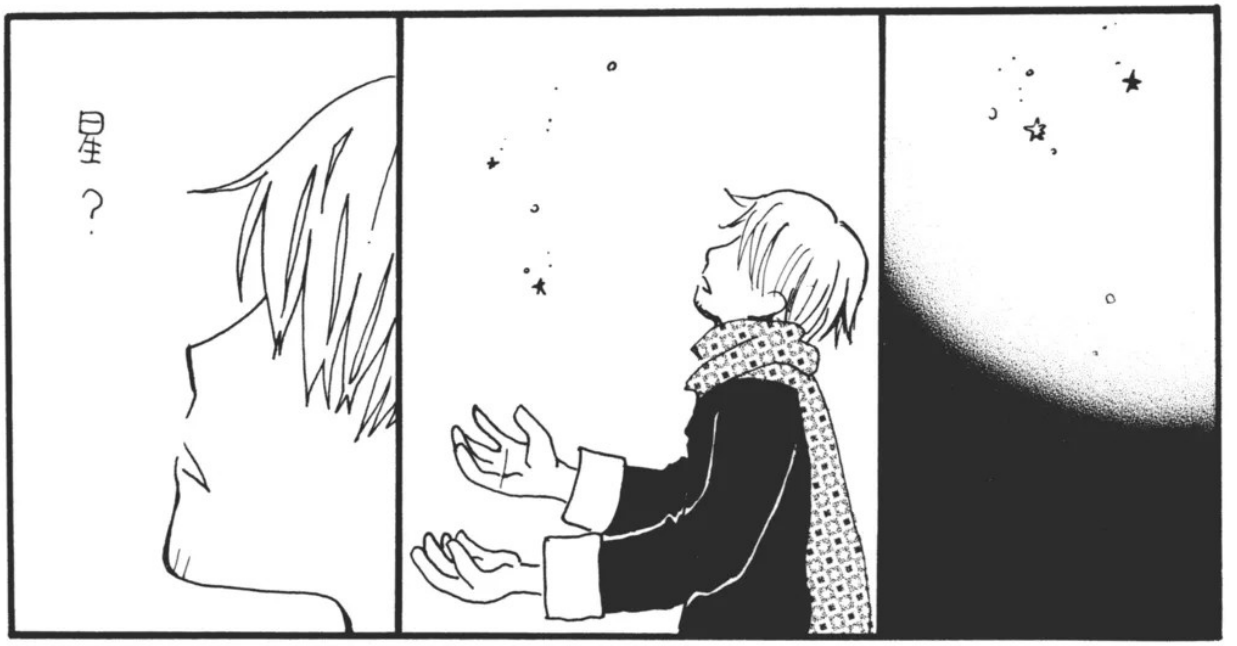

ドーン
わ!!
また『厄談』!?
それとも
夢でも見てるのか!!
ナデッ
なら
覚ませ!
俺は蜘蛛!
お前は蝶!!
それだけだ!!!
ガサ
おい!!
飛べるよ
いつだって
…イテテ
お前が
望めば…



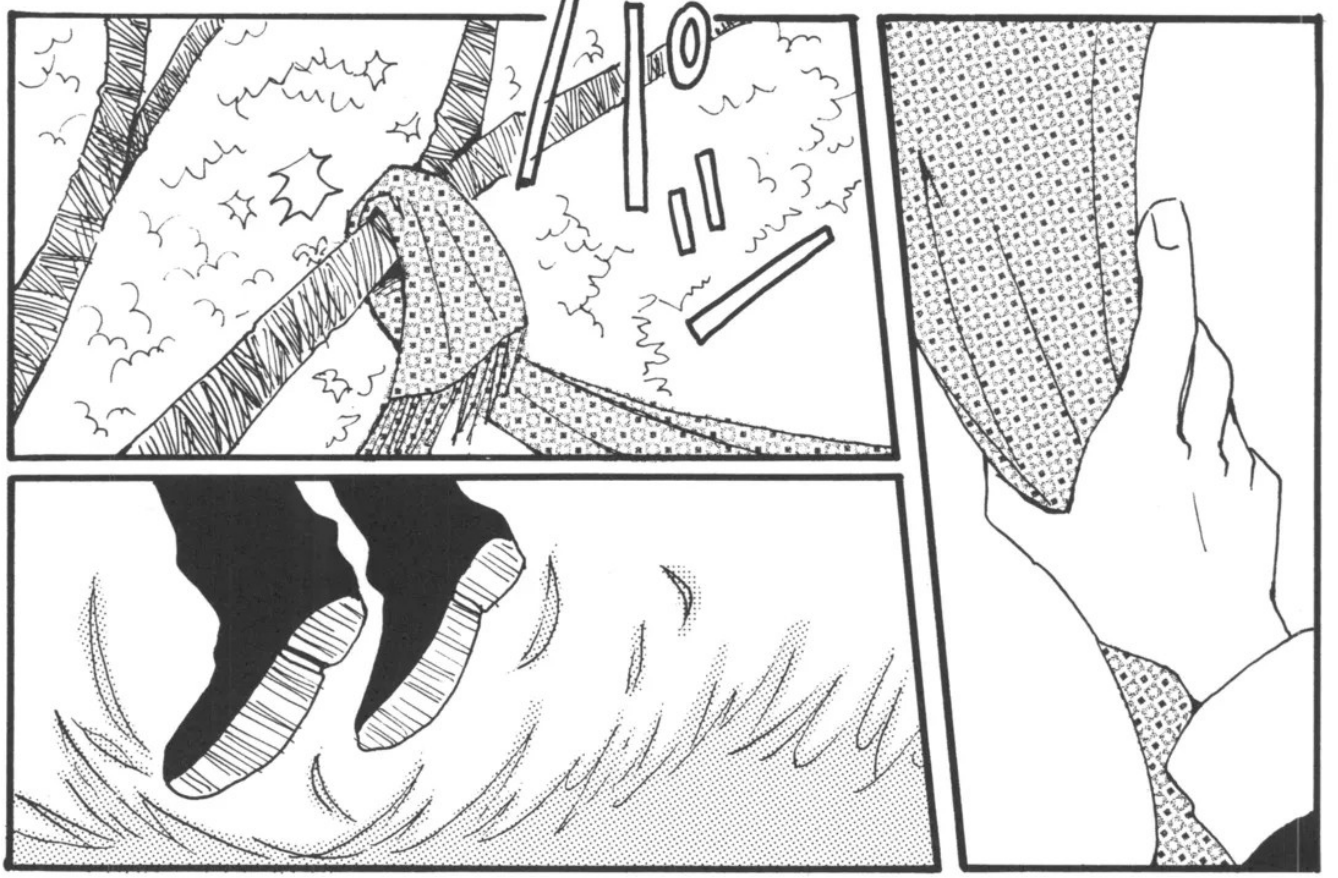

足ふわふわ
気持ちいー♥
久しぶりに
地を歩くのも
いいもんだ


だから来いよ
降りといで…
でも
それと
これは別!!
ゴホ


？…
…？
鳥？


星？


違う
この木は…
この星は…





星の粉(カケラ)
遠い昔見た



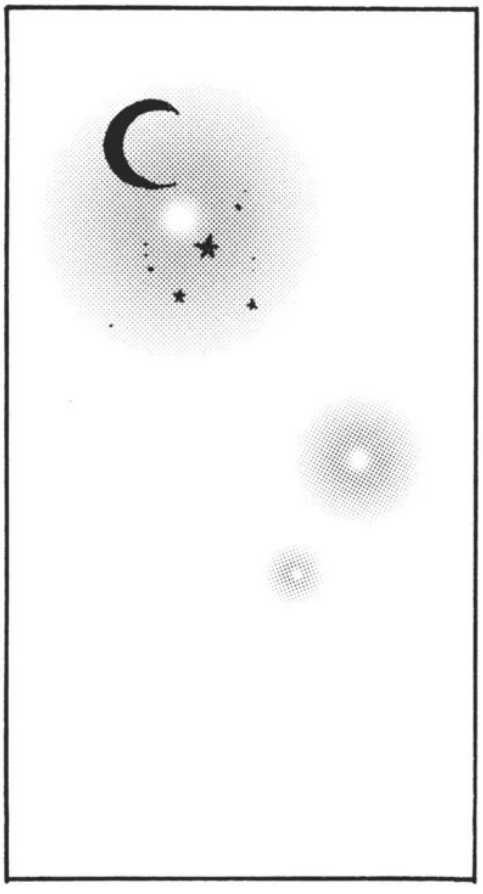
アコがレた羽根(キミ)

母の半身を
喰らってしまった
蜘蛛の子は
毎日泣いて
暮らしておりました

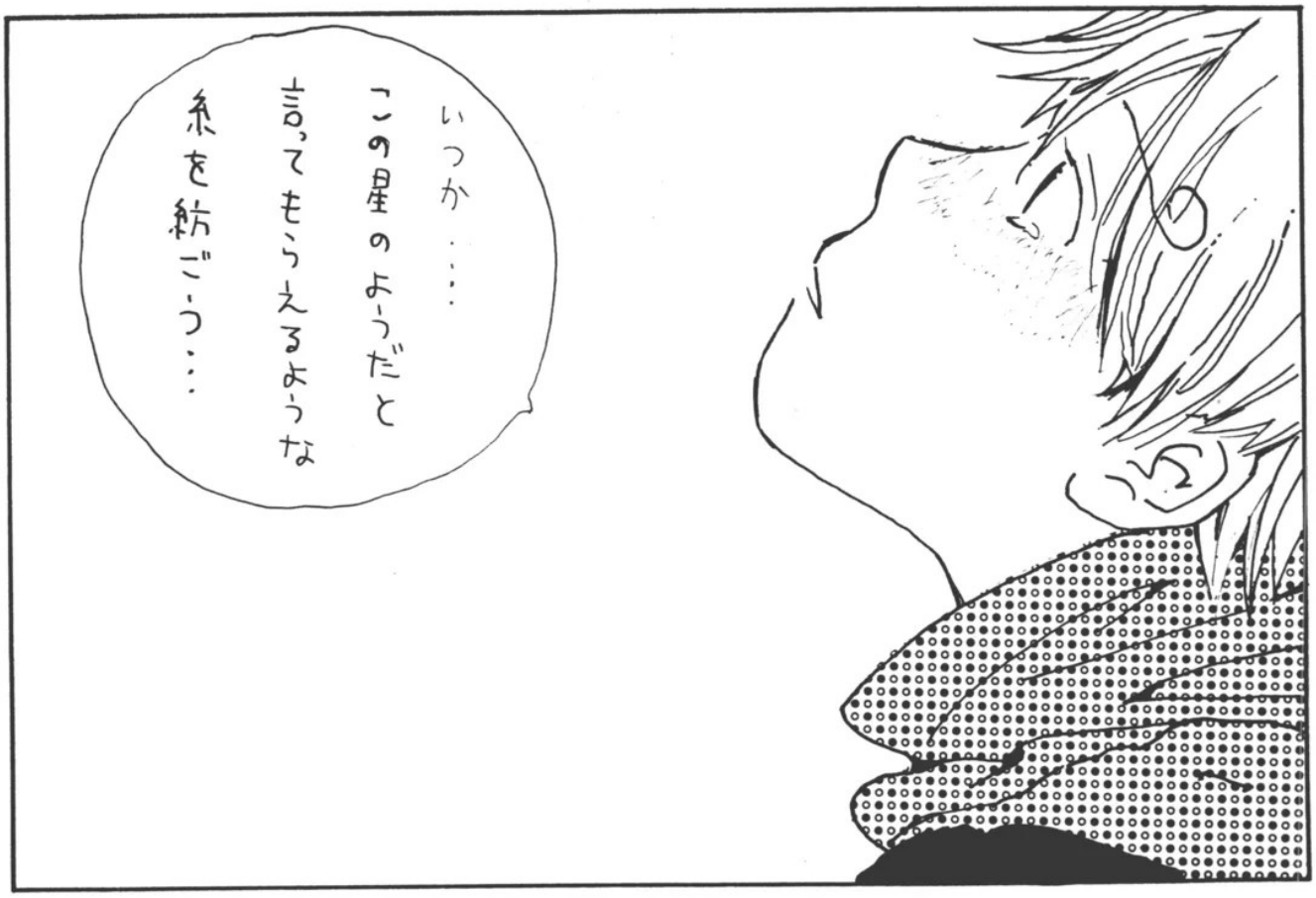
七の夜 涙して
八の夜 誓います



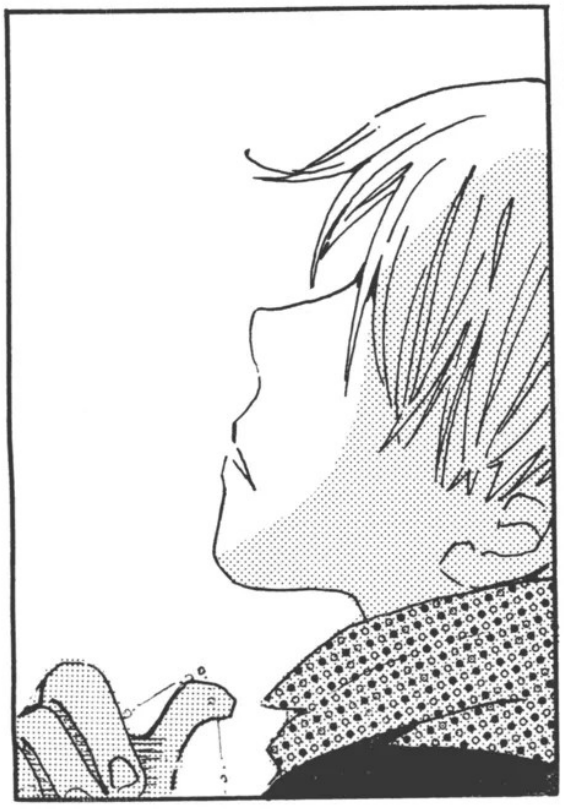


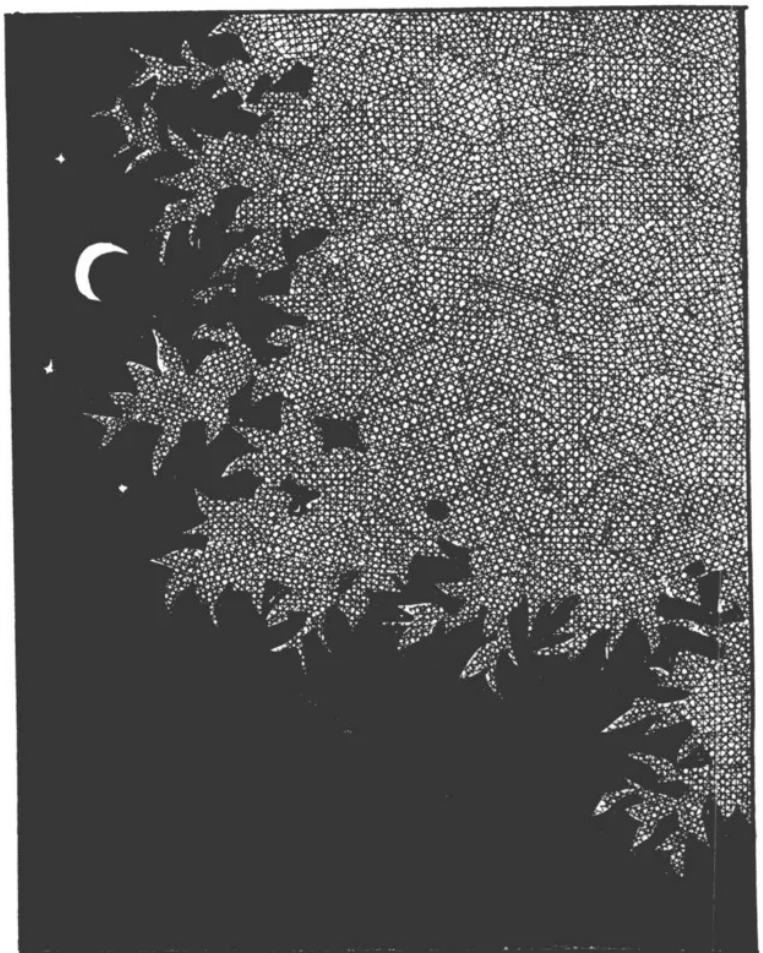






そうすれば きっと 神サマは 僕を 許してくれる…？






!!
ガサガサ
ガサ
誰かひっかかっちゃったかな…？
ヒョイ
！


…クロ…
…アオ…
…ホシ?
いつか
あの星の
ように…
オイ!
ドクン


あ？
もしかして
お前が巣を？




悪いが
こわさせて
もらった
…どうする
まだ俺を
喰らうか？


パン…


！
そ…
そんな事…
お前みたいな
マズそうな奴
だれが!!
俺は…
お…れ…
俺はッ!!


一生を
誰かの為に…
…俺は
お前も誰も
食べたりしない…
…信じなくても
いいけど…
いきなり
なぐるか？
――普通…
蜘蛛のくせに
―変な奴


え？
おかげで
お前の巣を
こわしてしまった
一つきたい…
誰も食べないのに
なぜ糸を？
…糸を張るのは
俺の仕事…
それだけだ
お前が
助かったのなら
それでいい
巣の事は
気にしないでくれ
わざと
切ったのだから
気にはしない
俺はお前のような
血肉を喰らって
生きる「蜘蛛」が
キライなだけだ


今さら
そんな事？
蝶じゃなくとも
誰が『俺』と話を？
誰が心を？
―そう思うのは
お前だけじゃない
という事を
知っておけ
・・・・・
驚いた！
本当なんだな
？
怒らせれば
ボロが出ると
思った


なんだ コイツ
頭 にくる…ぶぶ
ムカ
ボロも 何もない
真実(ほんとう)の事だ
ならば俺も
真実を？


お前の言う通り
俺がお前らを
嫌いなのは本当。
―だが今宵の俺は？
…初めて
切る事を迷った
この糸は
何だ!?
この細さ…
キラメキ？
―そうまるで…


…まるで？


…なんてね
半分冗談
!!
わー
ブサイク…
……
戯れ
お、おまーえ
早く行っちゃえバーカ！
ニヤニヤ
バジリ
ジャーッ
お前やっぱ喰う!!
ハハ…
マズそうなんだろ？
俺ァよ
でも
ためらったのは
本当！
―だから半分
お前こそ
変な奴！
俺を見て
逃げない奴
なんて初め…
キュル…



変な蝶は
言いました
『逃げないさ
だって俺は
闘う蝶だから』
蜘蛛は初めて
おしゃべりしました

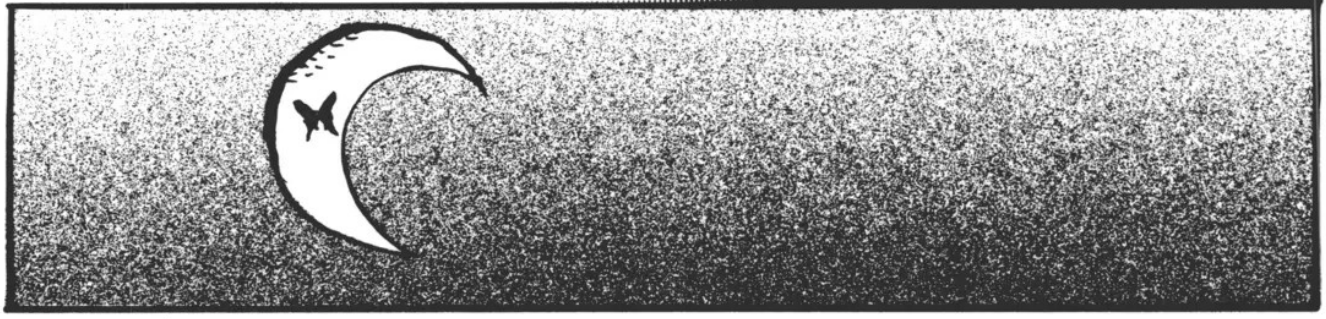




三日月の夜ただ一度
森に降りた「闘う蝶」は
「生まれつき」の羽根で
器用に
飛び立ちました



その歪な羽根
から生まれたは
黒の粉・青の粉
蜘蛛の心に
残された
灯に似た星でした




あぁ…
やっぱリ…


あいかわらずボロボロだな
傷も増えた？
なんとか生きてたって感心だな
男の粉
男の粉
余裕！
お前こそ餓死してると思ってた



あぁ… きっと あなたが くれたものは…

そして 僕が 欲しかったものは……


ん！
んまい…
あーッ
何だ、お前ら知り合いか？

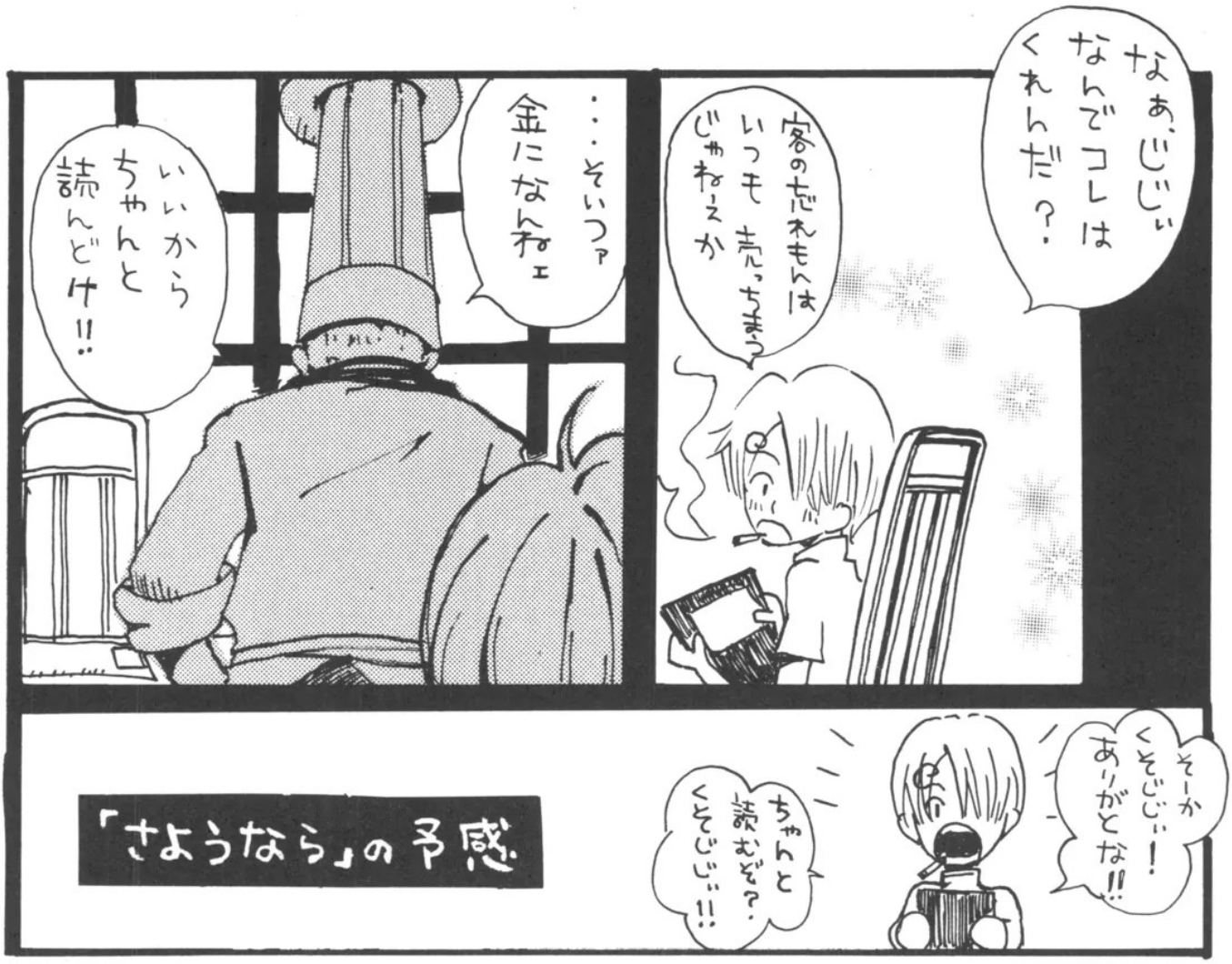

なんだ…仲間ってお前?
なかば無理やり
遅えぞ!ハゲ!!
ハッ!?
知り合いなら話は早ぇや
行くぞかせっぱち!
な!?お前また…
お前なら つくれんだろ?
――翼
「情熱」をかくすなよ?体に出てんぞ
なに?「コレ」も知らなかった?

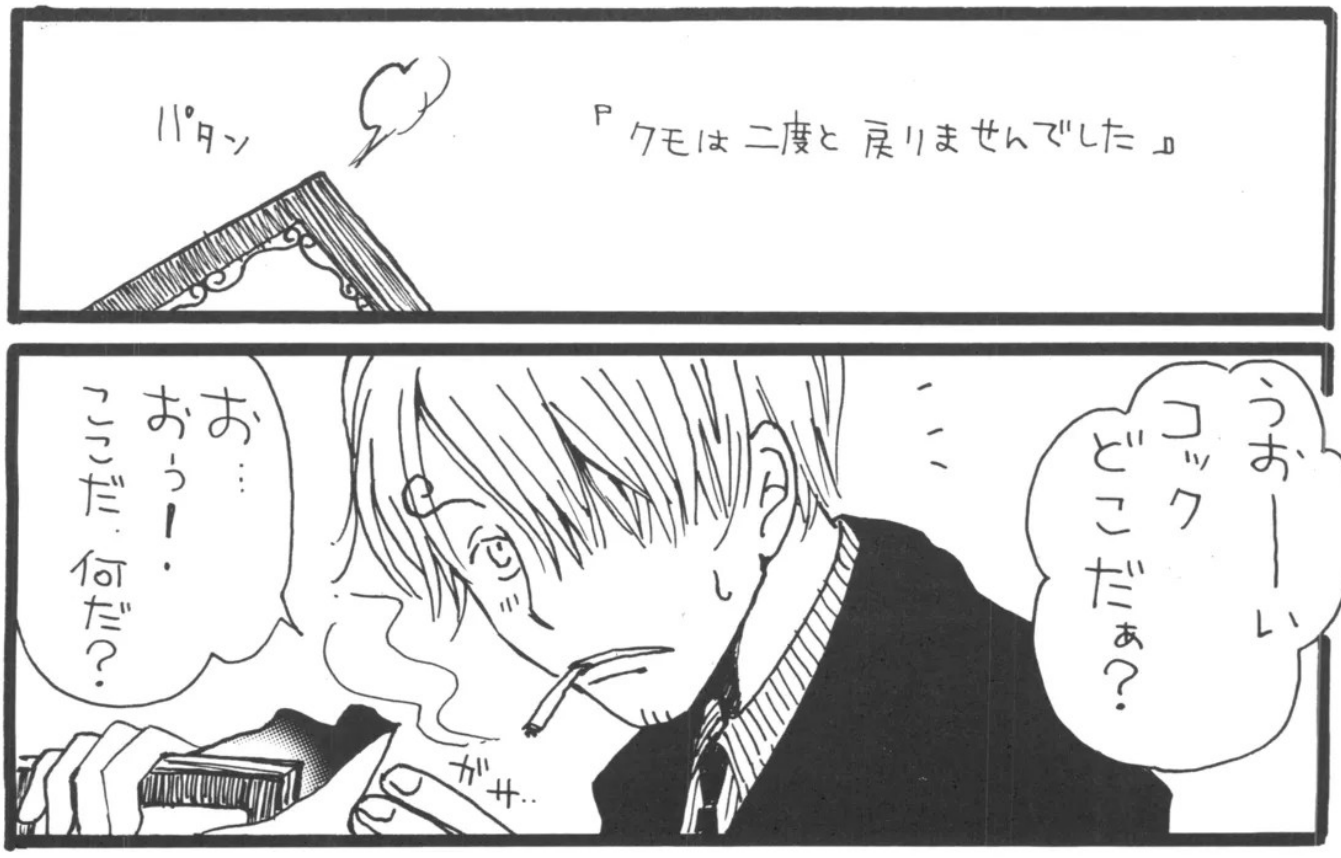


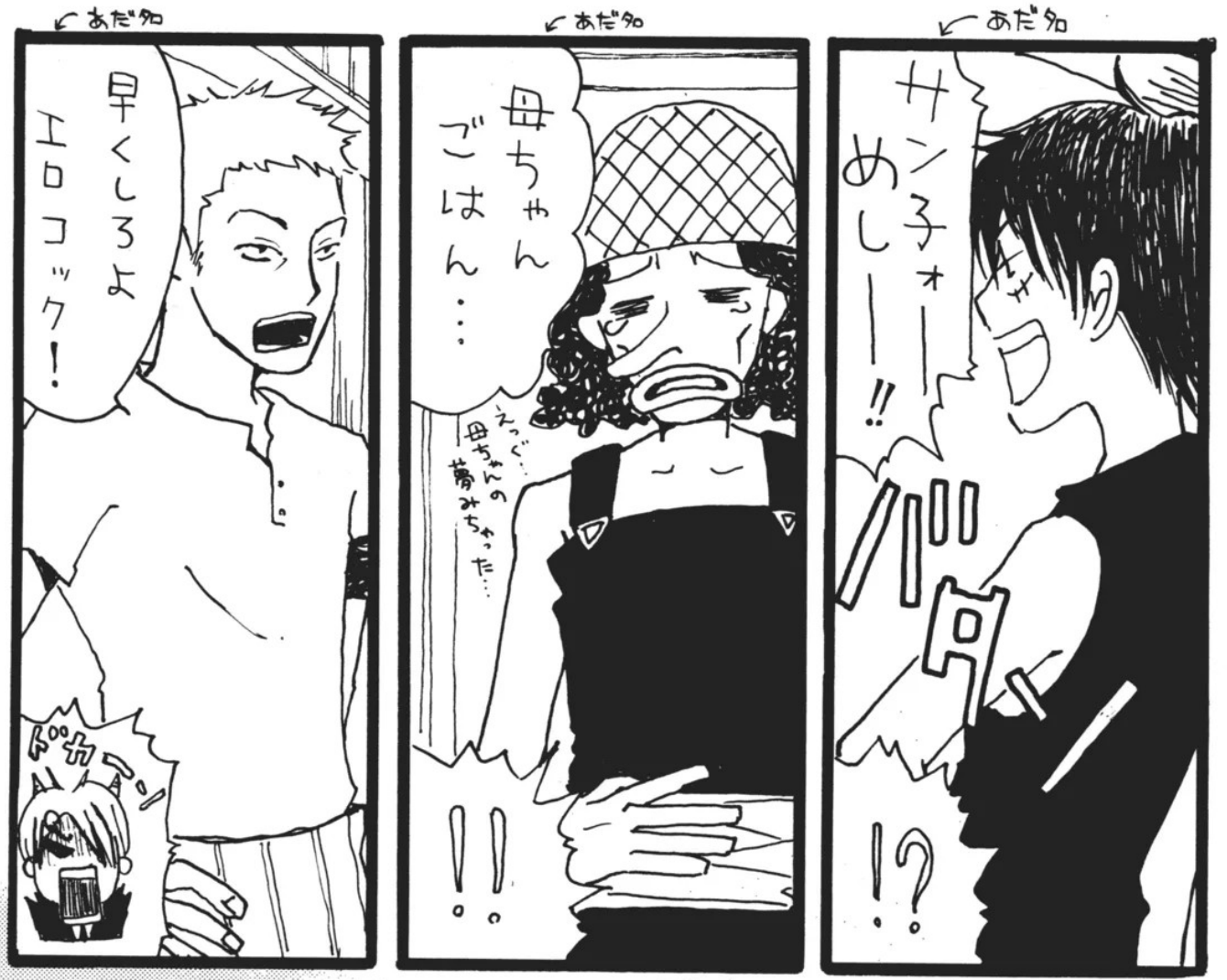
あぁ　神さま　星あかり・・・　僕は 飛ぼう

青の森の蜘蛛は
初めて自分の為に
糸を紡ぎました
そして蝶の為に二つの
ハンモックを作りました
ある強き風の吹く夜に
一匹の蜘蛛と
二匹の蝶が風にのり
空高く飛び立ちました




なぁ じじぃ
なんでコレは
くれんだ？
客の忘れもんは
いつも 売っちまう
じゃねーか
・・・そいつァ
金になんねェ
いいから
ちゃんと
読んどケ!!
「さようなら」の予感
そーか
くそじじぃ！
ありがとな!!
ちゃんと
読むぞ？
くそじじぃ!!


パタン
『クモは二度と戻りませんでした』
うおーぃ
コック
どこだぁ？
お…
おぅ！
ここだ 何だ？
ガサ..


あだ名
サンちゃォー
めしー!!
バ
バ
!?
あだ名
母ちゃん
ごはん…
!!
えっぐ…母ちゃんの
夢みちゃった…
あだ名
早くしろよ
エロコック!
ガリスマ
コック様と
呼べ
!!
サンジくーん
ごはん
まだー?
はーい
ナミさん
今すぐに♡

◉ ENDE ◉

FAN

OYAJITS

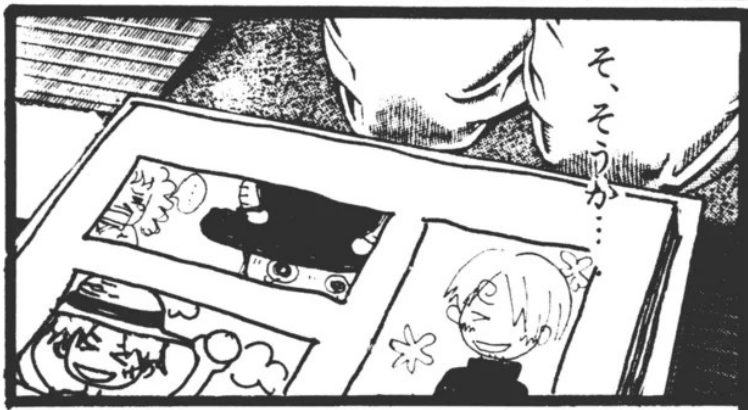


お父さんは、とうとうサンちゃんの親父にもなったんやなぁ・・・

《大阪府　池田　兄》



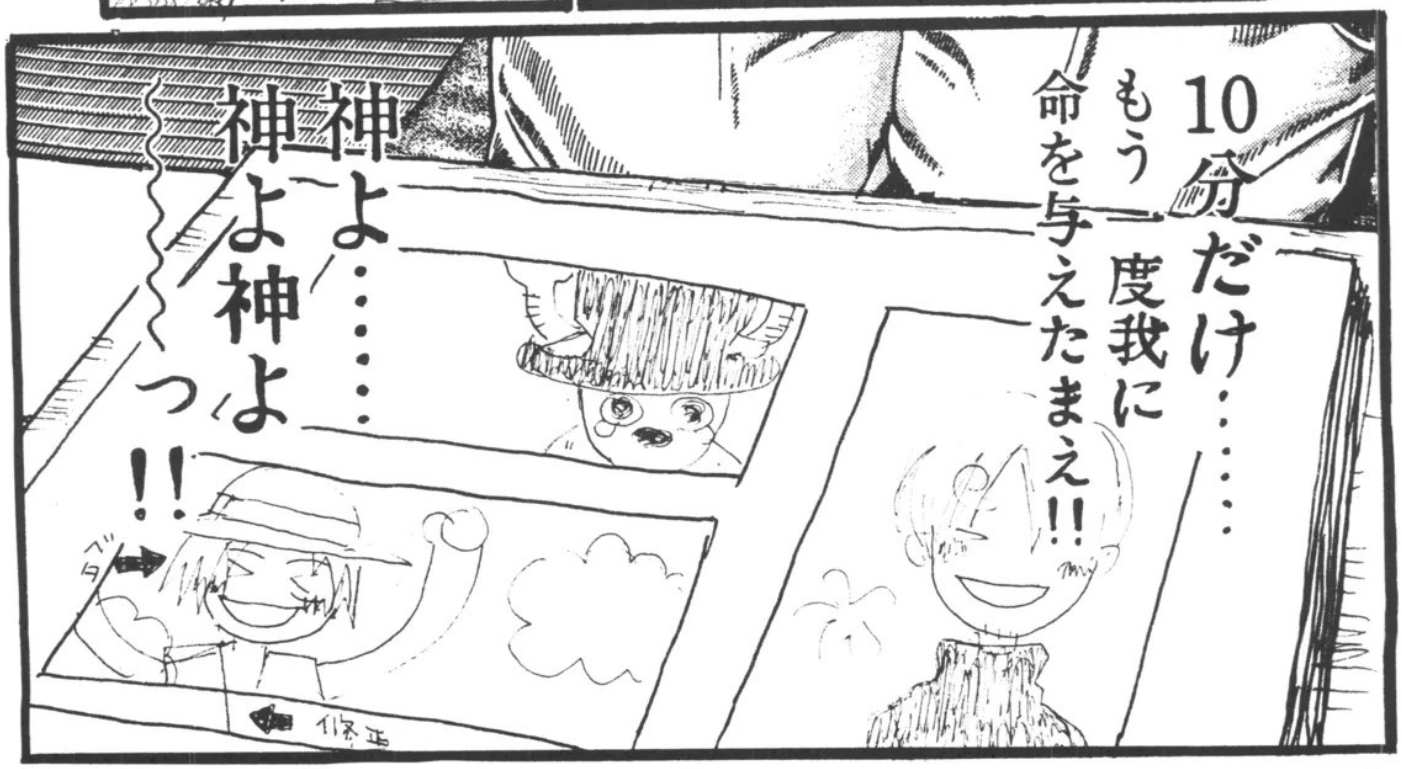






■この物語はフィクションです。取材に基づいて作画しておりますが、実在の団体・人物とは一切関係ありません。





おたより募集

この作品に関するご意見、ご感想を募集しております。この欄で採用させていただいた方には、オヤジ特製ラヴカードを差し上げます。〒362 埼玉県上尾市中妻1-14-13 内田有里 『シニア館ビッグコミックオヤジッツ OYAJITS FAN』係まで。



蘇生入稿

青の森、蜘蛛と蝶

BEGONIA GARDEN

11th. Aug. 2000
Hana Tsukino
Prezents

〒362-0072 埼玉県上尾市中妻1-14-13
内田有里《月野ハナ》

★次回ありましたら、またお逢いしたいです

前ページより続く



コメント?★ 言いたい事は山ほどありますが 時間切れスギ。
今 どんな話描いたのか 記憶なし…。
とにかく 色々ありがとです みなさまへ♥♥

